会に何を期待していますか。

答弁 体を張って懸命に働いている医師を励まして頂き、また、知り合いの中に医師がおられる方は、ぜひ紹介をして頂きたいです。

産業経済部門

質問 中心市街地活性化をどのように進展させるのか伺います。

答弁 国の指摘事項を受け、引き続き内閣府との協議を進めます。

実施可能な事業は着実に実施してまいります。

質問 勤労者制度資金融資斡旋事業で相談を受けた状況と行政が取り組むべき課題について伺います。

答弁 3月23日までの相談件数は46件、内訳は雇用関係35件、住宅4件、融資3件、生活資金2件、その他4件です。

課題については雇用の場の確保が求められており、緊急雇用創出、ふるさと再生雇用事業を通し、働く場を提供してまいります。

質問 街づくりで特徴ある店舗を作り、地域の特産品や伝統工芸品を育てる考え方について伺います。

答弁 県指定の伝統的工芸品である南部鉄器、岩谷堂タンスは引き続き支援し、育成してまいります。

質問 やる気結集街づくり推進事業に消費者の声を反映する施策をもっと入れられないか伺います。

答弁 最もな意見であり、市民的な合意を形成する事業を行い消費者の声を反映させます。

質問 学校給食について、地産地消、食育、地元農家をもり立てる観点からどのように今後進めるのか伺います。

答弁 今年度は、地元産米を14万kg、また米粉パンを年6回、430kgの米粉を、それぞれ計画しております。野菜は、大量に供給できるものから検討します。

質問 地元産材の活用をもっと行うべきと思いますが考え方を伺います。

答弁 乾燥施設等の問題があり難しい面もありますが、内装材等に活用してまいります。

質問 議会に女性農業委員の登用についての要望書が出されていますが農業委員会の考え方を伺います。

答弁 あらためて女性農業委員の登用を行う必要は無いと考えます。

農業委員としての役割をしっかり行っていただける方であれば良いと考えております。

県内の女性農業委員は73名で、そのうち16名は公選の委員です。

建設環境部門

質問 公営住宅の利用状況について伺います。

答弁 奥州市の3割ほどの施設が、すでに耐用年数を過ぎています。空き家も水沢区と衣川区に多く見られ、現在58戸です。修繕すれば入居できるものもありますが、修理するよりも廃止しなければならない物件が多くなってきています。

質問 栗原・北上線（通称広域農道）の進捗状況について伺います。

答弁 現在のところ、一関から平泉町、そして奥州市（衣川区）へつながる道路が出来ていない状況です。初めは、完成後県道昇格との願いでしたが、道のりは険しいと考えます。

質問 消防団の統合について、どのような状況か伺います。

答弁 平成22年4月に統合する方向で各団にも文書で示していますし、今後、組織再編に関する条例案を提出しようと考えています。

質問 江刺区の消防団に、小型ポンプが設備されていながら、積載車が配備されていない所があると聞きますが、どれくらいあるのですか。

答弁 積載車が配備されていないのは、17か所あります。

質問 前沢区の黒水対策については、前倒しで工事をされるのか伺います。

答弁 生母地区を除き、全域で12万6800メートルの配水管と配水地の洗浄が必要です。21年度は、配水地5か所のうち2か所と、配水管の一部を洗浄したいと考えています。

奥州市伝統産業会館